

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【公開番号】特開2004-267201(P2004-267201A)

【公開日】平成16年9月30日(2004.9.30)

【年通号数】公開・登録公報2004-038

【出願番号】特願2003-354377(P2003-354377)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

C 1 2 Q 1/68

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 15/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

目的のRNA配列に相補的な多数のコピーのポリヌクレオチド配列を生成する方法であって、該方法は、以下の工程：

(a) 標的RNAにハイブリダイズした第1のプライマーを、RNA依存性DNAポリメラーゼで伸長し、それにより、第1のプライマー伸長産物と該標的RNAとを含む複合体が生成される、工程であって、該第1のプライマーは、RNA部分および3' DNA部分を含む複合プライマーである、工程；

(b) 工程(a)の複合体中のRNAを、RNA/DNAハイブリッドからRNAを切断する酵素で切断する工程；

(c) 該第1のプライマー伸長産物にハイブリダイズした第2のプライマーを、DNA依存性DNAポリメラーゼで伸長し、それにより、第2のプライマー伸長産物が生成されて、第1および第2のプライマー伸長産物の複合体を形成する工程；

(d) 該第1および第2のプライマー伸長産物の複合体における複合プライマーから、RNAを、RNA/DNAハイブリッドからRNAを切断する酵素で切断する工程であって、その結果、複合プライマーが該第2のプライマー伸長産物にハイブリダイズし、該複合プライマーがRNA部分と3' DNA部分とを包含する、工程；

(e) 該第2のプライマー伸長産物にハイブリダイズした該複合プライマーを、DNA依存性DNAポリメラーゼで伸長する工程、

を包含し、これにより、該第1のプライマー伸長産物が置換され、そしてそれにより該目的のRNA配列に相補的な多数のコピーのポリヌクレオチド配列が生成される、方法